

伊藤総領事のミズーリ州ゾルテック・コーポレーション訪問

1. 11月17日、伊藤総領事は、ミズーリ州ブリッジトン市にあるゾルテック・コーポレーション（Zoltek Corporation）本社を訪問し、同企業の概況や炭素繊維の製造工程・用途展開などの説明を受けると共に、同州セントピーターズ市にある炭素繊維の中間基材工場の視察を行いました。
2. ゾルテック・コーポレーションは、1975年に創業、2014年に東レ株式会社によって買収されました。同社は、ミズーリ州ブリッジトン市に本社、セントチャールズ市とセントピーターズ市に工場を置き、両工場では、風車、航空機、自動車、スポーツ用品など幅広い分野で様々な用途として使用される炭素繊維の中間加工品を製造しています。炭素繊維は、同社のハンガリー工場及びメキシコ工場で製造され、同社はコストパフォーマンスの良いラージトウ炭素繊維の分野では、世界最大の生産能力を有しています。



竹内社長と伊藤総領事（右は同社のショールーム）



ゾルテック幹部からの同社の概況及び炭素繊維市場についての説明